

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

と う う ん  
**稲 雲**

**令和7年度 第15号**

令和7年 11月 28日発行

発行者：校長 田中 朗裕



## ○5年生が見学学習に行ってきました！

11月13日（木）に、5年生が須賀川市の研修バスを利用して、いわき市に見学学習に行ってきました。はじめに「日産いわき工場」に行き、自動車のエンジンが完成するまでを見学したり、工具を使う体験などをしたりしました。次に「アクアマリンふくしま」に行きました。ビーチでの昼食の後は、班ごとに問題に挑戦しながら楽しく館内を見学することができました。帰校後は、5年生たちからは「楽しかった！」「びっくりすることがたくさんあった！」などの感想が聞かれるなど、多くの学びをすることができたようでした。



## ○第3回の避難訓練を実施しました

11月18日（火）に、第3回の避難訓練を実施しました。児童生徒に「自分の命を自分で守る力」を高めてほしいという願いから、予告をしない形で清掃時間中に訓練を始め、放送を聞いて、出火場所から自分たちで避難経路を考えて避難するという方法で実施しました。避難完了後に、消防署の方からお話をいただき、今回の避難でよかった点や今後の課題について、地震や火災など大きな災害が発生したときの人間の心理とその危険性等についてのお話もいただきました。最後に「煙体験」として、実際に煙が充満した教室の中を移動する体験も行いました。



## ○「キャリア講話」を実施しました

11月13日（木）に、7・8年生を対象に「キャリア講話」を実施しました。講師に株式会社柏屋の代表取締役社長様をお迎えし、「暖簾は革新」という演題で講話をしていただきました。柏屋の創業から、会社の理念、薄皮饅頭の変遷、歴代の社長を務めた方々の思いや大切にしていることなどについてお話を聞くことができました。生徒や先生からの質問にも丁寧に回答していただきました。代表生徒のお礼の言葉には、講話の中で心に残った言葉がたくさん出てきて、講話を通して感じたことや、学んだことの大きさが伝わってきました。





## ○おにぎりと一緒に「収穫の喜び」も噛みしめました！

11月4日（火）に、3年生が「おにぎりパーティー」を開きました。春に稲の苗を植え、夏の間お世話をして、秋にたくさん実ったお米を脱穀・精米しました。当日は、炊飯器でご飯を炊いて、自分の家から持ち寄った好きな具を入れて自分でおにぎりをにぎって食べました。やっぱり自分たちで育てたお米は一段とおいしかったようで、子どもたちからは「おいしい！」の声がたくさん上がり、おにぎりの味とともに、「収穫の喜び」も味わうことができたようです。



## ○学級・専門委員会役員任命式と表彰集会を実施しました

11月20日（木）に、後期の学級役員・専門委員会役員の任命式を実施しました。任命されたみなさんには、学級そして各専門委員会の役員として、自分らしくリーダーシップを発揮しながら稲田学園をよりよい学校にするために活躍してくれることを期待しています。任命式の後は、表彰集会を実施し、コンクールや大会の表彰、認定証等を手渡すことができました。表彰されたみなさんおめでとうございました。



## ○8年生に性教育講座を実施しました

11月20日（木）に、保健師・助産師・思春期保健相談士の先生を講師にお迎えして、8年生が「大人になっていくあなたたちへ」という講演を聞きました。思春期の体や心を大切にすることについて丁寧にお話しいただき、生徒たちもメモを取りながら真剣に話に聞き入っていました。代表生徒のお礼の言葉からは「自分の体や他人の体、そして体だけではなく、心も大切だと改めて学ぶことができたこと」「ひとつしかない自分の体や心を、これからも大切にしていきたいと思ったこと」「家族がここまでしっかり育ててくれた命だから、自分の命だけではなく、他人の命、他人の心を傷つけることがないようにしっかり守って生活していきたいということ」など、多くの学びや気づきがあったことが感じられました。8年生にとって自分の心や体、命と向き合うことができる貴重な時間となりました。



### 随 想

### やっぱり子どもが好き ～学級閉鎖で感じたこと～

今週本校は、前期課程でのインフルエンザの大流行により、午前中での授業の打ち切りや学級閉鎖、後期課程の部活動休止など、学校に子どもがいない時間が多い日が続きました。そこで気がついたことがあります。やっぱり学校には子どもたちの元気な声や笑い声、一生懸命に頑張る姿が必要なのだと思います。職員室にいる先生方もどことなく寂しそうに見えました。普段は、友達と笑い合ったり、時には困って泣いたり、ケガをしたりと、いろいろなこともあります。子どもたちがいると学校全体が元気なのです。そして先生方も元気なのです。やっぱり学校というところには、子どもたちが必要で、先生方も本当に子どもが大好きなのだと改めて感じる事ができた1週間でした。来週は元気な「稲田学園」が戻ってくると思うと楽しみです。体調を崩している児童生徒が回復すること、これ以上感染が拡大しないことを願っています。